

「岐阜の蜂蜜」発展誓う

県養蜂組合連合会、60年式典

功労者に感謝状を贈った県養蜂組合連合会創立60年記念式典。岐阜市湊町、十八楼



県養蜂組合連合会は1日、創立60年記念式典を岐阜市湊町の十八楼で開いた。

岐阜県は1910年に第1回全国養蜂家大会が開かれるなど、近

代養蜂発祥の地とされている。現在、県内では約200戸の養蜂家が年間約45トンの蜂蜜を生産している。

式典には約120人が出席。ミツバチの霊

に黙とうした後、中村正会長が「岐阜の養蜂業は長い歴史を持つ」とあいさつし、高品質の蜂蜜を生産し続けることを誓った。また、長年養蜂業界の発展に尽力したとして、5人に県知事表彰、4人に同連合会から感謝状が贈られた。

昨年10月に開いた第23回県はちみつ共進会の表彰式も開き、農林水産大臣賞などを贈った。

表彰、感謝状を受けたのは次の皆さん。

【県知事表彰】宮崎正男(岐阜市)中村秋雄(同)水野昌(同)圃中辰一(中

津川市)杉山清治(各務原市)山中乾介(本巣市)

【感謝状】郷馨(岐阜市)加藤泰三(岐阜市)

加納五郎(揖斐郡大野町)